

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 新 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館新規展示機体導入事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内 2936)

E-mail : c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 18,474 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	18,474	0	0	0	0	0	0	0	18,474
決定額	15,787	7,893	0	0	0	0	0	0	7,894

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(空宙博)は、国内唯一の航空と宇宙の本格的な専門博物館として、平成30年3月のリニューアルオープン以来、小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進を図ることを目的としたイベントや各種教室の開催を行っている。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響による入館者数の減少が続いており、今後の安定した運営のためには、新規展示機体の導入等によるリピーターの獲得が不可欠である。

(2) 事業内容

コロナ禍で減少した入館者数の回復のため、地元ゆかりの「F-4EJ改」等の新規展示機体導入により、空宙博のさらなる魅力向上を図る。

- ① 新規展示機体「F-4EJ改」の導入 19,834 千円 (県負担：12,206 千円)
「F-4EJ改」展示に伴う既存展示機体の移動及び解説パネルの製作等
- ② 搭乗体験用ヘリコプター(BK117)の導入 5,818 千円 (県負担：3,581 千円)
搭乗体験用ヘリコプター展示に伴う屋外地盤工事及び機体固定等
- ③ 観覧制限中の入館料割引に伴う負担金 5,374 千円 (県負担：2,687 千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

左記①、②については、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館の大規模施設修繕等に係る費用負担に関する覚書」に基づき、「県：各務原市＝1.6：1」の割合で費用負担。(建物共有割合「県：各務原市＝613：387(≒1.6：1)」が基準)
左記③については、県と各務原市で半額ずつ負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	18,474	・左記①、②は各務原市が契約発注を行い、県が応分を負担。 ・③は県市が直接指定管理者へ執行
合計	18,474	

決定額の考え方

観覧制限中の入館料割引に伴う負担金については、観覧制限の期間や詳細が不明確であることから、別途検討することとし、計上を見送ります
財源については、地方創生推進交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、航空宇宙産業を県の成長産業として位置付けるとともに、人材育成・確保の強化、生産拡大の支援、県内航空宇宙産業のPRなどに取り組むこととしている。

(2) 国・他県の状況

同博物館は、航空と宇宙の本格的な専門博物館として国内唯一のものである。

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館は、県及び各務原市が共同所有者として運営・管理を行っている施設であるため、新規導入機体の無償貸付を受けるのが各務原市であっても、県の関与は適切である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 コロナ禍により減少した入館者数の回復を図り、令和5年度の入館者数30万人を目指すとともに、博物館を活用した本県の航空宇宙産業をPRする。
 また、同博物館の利用促進を図ることにより、子どもたち（主に小中学生）に航空宇宙への夢や魅力を伝えて興味を持たせ、同産業への就業につなげることで人材不足の解消を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
				%
① 博物館入館者(人)	57,082 <small>(R3.9時点)</small>	250,000	300,000	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	企画展の展示内容充実のため、以下の展示物を新たに制作 ・制作物：小惑星探査機「はやぶさ2」関連模型 2,497千円 企画展：「おかえり！はやぶさ2」10/24～2/1 来館者数：32,055人 ・制作物：海外ロケット模型 6,028千円 企画展：「ユーリ・ガガーリン物語」3/20～5/17 来館者数：25,876人
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
<p>(評価) 3</p>	<p>県では、「岐阜県成長・雇用戦略2017」において、「航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト」を最重要プロジェクトに位置付け、航空宇宙産業のわが国有数の集積地である各務原地域と中部地域を広くPRするとともに、次代の航空宇宙産業を担う子どもたちに興味を持ってもらうことで将来の人材確保を掲げていることから、県が関与し本事業を進めていく必要性は高い。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
<p>(評価)</p>	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
<p>(評価)</p>	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>コロナ禍において減少した入館者数の回復のため、子どもたちから専門的な興味・知識を有する方までの幅広い層に対し、効果的かつ効率的に、博物館の魅力を伝え、繰り返し来館いただける層を確保することが必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>岐阜かかみがはら航空宇宙博物館利用促進事業 【航空宇宙産業課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	<p>機体導入に係る観覧制限中にもイベントを実施し、来館意欲の向上を図る。</p>